

地域再生計画

1 地域再生計画の名称

基山町ブランド化推進事業～小さくてもキラリと光る町へ～

2 地域再生計画の作成主体の名称

佐賀県三養基郡基山町

3 地域再生計画の区域

佐賀県三養基郡基山町の全域

4 地域再生計画の目標

4-1 地方創生の実現における構造的な課題

基山町では、佐賀県の東端に位置し、面積22.15km²の小さな町であるものの、JR博多駅まで20分、車でも40分程度であり、交通の要衝地となっている。また、築造1350年を超える国の特別史跡基肄城跡基肄城跡や、春のつつじ・秋の紅葉の名所として1300年を迎える大興善寺など古い歴史と自然が調和している。さらに、図書館、体育館、武道場などが町の中心部にあり、コンパクトで、利便性の高い町である。

しかし、歴史や自然、交通の便など、本町が有している利点に頼り、町としてのブランドづくりをしてこなかったため、平成12年に19,176人まで増加した人口は約2千人が減少して、平成29年3月末には17,360人まで減少している。そのため、人口減少に歯止めをかける必要があり、今後は町のイメージアップとブランドづくりをすることが課題となっている。

4-2 地方創生として目指す将来像

本町のブランド化を推進することにより、工業・商業・農業・観光業などにおける付加価値の増大と雇用機会の確保と起業につながる施策を実施することで雇用の場をつくり、人口流出の抑制・人口流入の促進を図ることを目的とするものである。

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	平成29年度 増加分 (1年目)	平成30年度 増加分 (2年目)	平成31年度 増加分 (3年目)	KPI増加分の 累計
基山産榊の出 荷額、サカキ 関連商品の売 上高	3,700,000円	100,000円	150,000円	150,000円	400,000円

子育て家族セルフデザインプロジェクトによる売上高	0円	500,000円	500,000円	1,000,000円	2,000,000円
治験改善効果による売上増	0円	0円	1,000,000円	1,000,000円	2,000,000円
居酒屋群、キャンプ場、宅配・通販などのツール、双方型地域情報サービスによる売上増	10,000,000円	200,000円	500,000円	1,000,000円	1,700,000円

5 地域再生を図るために行う事業

5-1 全体の概要

現在、基山町にある“息吹”に着目して、その支援と更なるビジネス化等を図り、アイデンティティの確立、ブランド化を図る。具体的に下記の5事業を遂行する。

(1) 山村集落による里山サカキプロジェクト

城戸生産森林組合が手掛けている榊の増産を図り、基山産榊の品質の安定とともに地域ブランド化を図る。

(2) 子育て家族セルフデザインプロジェクト

新しい転入者として、少しずつ増えてきている子育て世代に着目し、ワークショップなどを通じて、町民自ら子育てのしやすさ、仲間づくりのきっかけとして「子育て支援ガイドブック」を制作する。

(3) 食やスポーツに基づく健康ブランド

本町でブーム化しつつある、スロージョギングやキクイモ栽培などに着目して、糖尿病対策としての「ヘモグロビンA1c」の測定による、簡易治験を通して、基山町の健康をビジネス化させる。

(4) 特産品開発事業

本町のふるさと納税の返礼品として、注目されているエミュー、柿、イチゴ、工芸品等に着目して、それらが、真の特産品となれるように、本町が誇る居酒屋、キャンプ場、宅配・通販などのツールをフル活用して、それぞれのブラッシュアップを図る。

(5) 双方型地域情報サービス

本町のホームページの中に、上記(1)～(4)のメンバー等を発信者として、様々な発信ツールを媒体として、利用者、購入希望者等が自由にアクセスできる情報システムを構築する。これにより、地域ブランドの強化及び自治体との情報共有を図る。

5-2 第5章の特別の措置を適用して行う事業

地方創生推進交付金（内閣府）：【A3007】

①事業主体

佐賀県三養基郡基山町

②事業の名称：基山町ブランド化推進事業～小さくてもキラリと光る町へ～

③事業の内容

（1）山村集落による里山サカキプロジェクト

基山町の豊かな里山を活用し、城戸生産森林組合を核に町内の森林所有者が連携して、事業を推進する体制を構築し、一体的に榊の増産をすることで、榊産業による森林所有者の収益性の向上を図り、基山産榊の品質の安定とともに地域ブランド化を図る。また、榊出荷の際に廃棄していた未利用部分を利用し、サカキ石鹸等の六次産品を開発し、デザイン等の改良をするなど、販路の拡大を図り、基山産榊の知名度を上げ、里山における所得の向上につなげる。さらには、作業者の高齢化に対応し、作業の効率化を促進するため、林地内の作業道を整備するなど、この事業を通して、地域資源を活用した林業振興と森林保全を図る。

（2）子育て家族セルフデザインプロジェクト

現在、子育て中の保護者のワークショップなどを通じて、利用者の視点にたった、より知りたい情報を反映させた「子育て支援ガイドブック」を作成する。また、町民自ら考え作成することで、「地域の子育てのしやすさ」を感じ、仲間づくりのきっかけとし、より子育てのしやすい環境を目指す。

（3）食やスポーツに基づく健康ブランド

本町では、平成 27 年度よりスロージョギング®教室を実施しており、延べ 2,544 人が参加している。また、平成 28 年度に開催した「第 2 回きやまスロージョギング®大会」では、246 人がエントリーしており、スロージョギングが盛んになってきている。また、本町では「キクイモ」の栽培を促進しており、血糖値を下げる効果があるとして注目されている「キクイモ」の摂取による「ヘモグロビン A1c」の測定を行うなど簡易治験を通して、食とスポーツによる本町の健康をビジネス化させる。

（4）特産品開発事業

ふるさと納税の返礼品として、注目されているエミュー、柿、イチゴ、工芸品等に着眼して、それらが、真の基山の特産品となれるように、本町の居酒屋と連携して、商品開発や宅配・通販などのツールを活用することにより、それぞれの商品のブラッシュアップを図る。

(5) 双方型地域情報サービス

基山町のホームページの中に、上記(1)～(4)のメンバー等を発信者として、様々な発信ツールを媒体として、利用者、購入希望者等が自由にアクセスできる情報システムを構築する。これにより、地域ブランドの強化及び自治体との情報共有を加速化させる。

④事業が先導的であると認められる理由

【自立性】

・生産森林組合と森林所有者が連携し、サカキプロジェクト事業推進の体制を構築することで、不足していた榊栽培用地を確保し、安定した品質を保ちながら、市場需要に応える供給を行うことで、収益性を向上させ、3年後を目途に榊産業の自立を目指す。子育て家族グループについては、まずは、公的需要に対応するスキルを確保しながら、クラウドソーシングのスキームに乗れるように育成する。また、治験による健康効果を証明することにより、キクイモ生産増や、スロージョギング®の利用者が拡大していくことにより、それぞれの自立化が可能となる。また、町内の業者等のブランド化推進により、それぞれの売り上げや付加価値が増大し、自立化が可能となる。

【官民協働】

・榊産業の振興を図るため、生産森林組合と山林所有者等が一体となった連携体制を構築できるよう、行政は団体設立等の支援を行いながら、事業開始時(3年間)は、運営のための原材料費や作業道整備などの支援もあわせて実施する。また、子育て家族プロジェクトについては、まずは、行政の仕事から入る。治験については、町の保健センターの全面的協力を得る。専門家の支援による特産品開発や町のホームページの中に、双方向情報交流システムを設け、ブランド化のブラッシュアップをしていくことも、町との連携が不可欠となる。

【政策間連携】

・生産森林組合を核として山林所有者が連携し、一体的に基山産榊の栽培及び未出荷分を利用した六次産品の開発、改良に取り組むことで、林業の振興と六次化推進に加えて地域ブランド化を目指す。また地域資源の活用と森林の保全を図る。子育て家族プロジェクトでは、子育て支援と女性の社会進出を推進する。治験プロジェクトでは、健康寿命を延ばし、医療費や介護費の削減を目指す。特産品開発や双方向地域情報サービスにより、地域資源や農商工連携を進めるとともに、IT化の推進を図る。それらを総合して地域ブランドを構築する。

⑤重要業績評価指標（KPI）及び目標年月

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	平成29年度 増加分 (1年目)	平成30年度 増加分 (2年目)	平成31年度 増加分 (3年目)	KPI増加分の 累計
基山産榊の出 荷額、サカキ 関連商品の売 上高	3,700,000円	100,000円	150,000円	150,000円	400,000円
子育て家族セ ルフデザイン プロジェクト による売上高	0円	500,000円	500,000円	1,000,000円	2,000,000円
治験改善効果 による売上増	0円	0円	1,000,000円	1,000,000円	2,000,000円
居酒屋群、キ ャンプ場、宅 配・通販など のツール、双 方型地域情報 サービスによ る売上増	10,000,000円	200,000円	500,000円	1,000,000円	1,700,000円

⑥評価の方法、時期及び体制

本交付金の効率的・効果的な活用のため、P D C Aサイクルが重要であるとの認識のもと、毎年度3月末時点のK P Iの達成状況や効果などについて、総務企画課が取りまとめ、外部委員等により構成された「基山町まち・ひと・しごと創生推進会議」により検証のうえ、次年度以降の施策に的確にフィードバックすることとしている。

⑦交付対象事業に要する経費

- ・法第5条第4項第1号イに関する事業【A3007】

総事業費 40,876千円

⑧事業実施期間

地域再生計画認定の日から平成32年3月31日（3ヵ年度）

⑨その他必要な事項

特になし

5-3 その他の事業

5-3-1 地域再生基本方針に基づく支援措置

該当なし

5-3-2 支援措置によらない独自の取組

該当なし

6 計画期間

地域再生計画認定の日から平成32年3月31日

7 目標の達成状況に係る評価に関する事項

7-1 目標の達成状況にかかる評価の手法

外部委員等により構成された「基山町まち・ひと・しごと創生推進会議」により検証のうえ、次年度以降の施策に的確にフィードバックすることとしている。

7-2 目標の達成状況にかかる評価の時期及び評価を行う内容

【数値目標】

	事業開始前 (現時点)	平成29年度 増加分 (1年目)	平成30年度 増加分 (2年目)	平成31年度 増加分 (3年目)	KPI増加分の 累計
基山産榊の出荷額、サカキ関連商品の売上高	3,700,000円	100,000円	150,000円	150,000円	400,000円
子育て家族セルフデザインプロジェクトによる売上高	0円	500,000円	500,000円	1,000,000円	2,000,000円
治験改善効果による売上増	0円	0円	1,000,000円	1,000,000円	2,000,000円
居酒屋群、キャンプ場、宅配・通販などのツール、双方型地域情報サービスによる売上増	10,000,000円	200,000円	500,000円	1,000,000円	1,700,000円

7-3 目標の達成状況にかかる評価の公表の手法

目標の達成状況については、検証後速やかに基山町ホームページ、情報公開コーナーにて公開する。